



さとう かつお
佐藤克夫
(創政会)

- 地区コミュニティ計画見直しの視点
- 江刺総合支所と広域振興局との庁舎交換のメリット
- 小・中学生の放課後活動の課題

質問 協働のまちづくりをめざす地区コミュニティ計画見直しの視点をどう考えるか。

市長 コミュニティ計画は、地区振興会が中心になり地域課題を掘りおこし、検討を重ね合意形成したもので適宜見直しされてきている。今回見直しの視点として、地域の活力を高める人材育成を第一に、支え合える健康と福祉のまちづくりをめざし福祉計画のコミュニティ計画への反映。コミュニティ組織に自治会（町内会）に併せてNPO等の団体との連携を大事にし、協働のまちづくりへの環境づくりを期待している。

質問 江刺総合支所と広域振興局との庁舎交換のメリットは何か。

市長 市・県ともに分散している役所の窓口が一つになることにより効率的な行政が期待できる。市民にとって子育てやまちづくりの窓口が一ヶ所になるメリットは大きい。県にとっても集約的な事務執行が期待でき、沿岸との交通の便や防災計画

の推進や広い駐車場等メリットが多い。県当局とは慎重に協議をすすめたい。

質問 小・中学生の放課後活動の現状と課題は何か。

教育委員長 放課後の自主活動は大きな活動だが時間不足になっている。放課後子ども教室は異年令との交流や体験活動等地域の協力を得ながら、順調に広がっている。学校支援地域本部事業も5つの中学校・18の小学校で、放課後学習・読書活動・体験活動・スポーツ等地域との連携が着実にすすんでいる。



広大な駐車場を有する江刺総合支所



せき しょうこ
関 笙子
(創政会)

- 統合前沢小学校の放課後児童対策は万全か
- 奥州市の被災者支援はスピードをあげて

質問 働く母親が増えている現状の中、全く別の所に建設される小学校の放課後児童の取扱いについて心配の声が寄せられている。市の対策は。

市長 市の対策としては、既存の施設を使い運営は地域の方々と民間の皆様にお願したいと考えている。又、安定的に運営する為に国の補助事業の対象となる内容の取扱としたいが一部有料となる事も承知してほしい。

質問 市の方針や考え方が保護者に全く伝わっていない現状がある。

市長 周知と意見集約を早期に実施してほしい。

市長 早速説明と意見を伺う事を始めたい。通学路等の要望書も届いているので、併わせて子供の安全な環境を確立する。

質問 慣れない仮住まいをしながら生活再建を心配している被災者が多数居る。市の被災者支援をスピードを挙げて実施してほしい。

市長 5月に半壊以上の被災者宅470戸にアンケートを実施した。沿岸被災の影響もあり遅れているが当市の再建はこれから本格

化したいと考える。助成制度の末周知や個々の状況の違い等があるがしっかりと個別対応して行く。

質問 子どもたちの内部被ばく検査含めて生活環境整備を急いでほしい。又、放射能問題は長期の対応となろうが職員の健康状態含めて体制は万全か。

市長 市独自の内部被ばく検査は限界があり測定はむずかしい。

国に強く要望して行く。除染についてもこれから本格的な対応となるが子どもたちの生活環境の充実には万全を期して行く。職員体制は全庁方式となっており長期戦に対応できる体制と思っている。



前沢児童館の放課後児童の様子